

# 豊中の政治を変えよう！

発行2009年11月

VOL. 37

だいぶ  
肌寒くなって  
きましたね。

## かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



豊中市議会議員  
無所属・市民派

# 若い力で新しい政治を実現します！

白熱

## 2008年度決算審査！！

毎年10月に前年度の決算審査が行われます。決算審査では、予算を組んで行った様々な政策、事業の効果や費用が当初の見込みと比べ、どうだったのかをチェックし、次年度以降に活かします。今年も、所属する文教常任委員会で、こども未来部・教育委員会に質疑しました。その一部を、ご紹介します。

Q. 豊中市民体育振興協議会への補助金や市民体育大会の実施に税金を使う理由は？

A. 加盟団体の各競技大会などの事業経費や組織強化に補助金を支出。市民体育大会は市民に継続して運動してもらうために有効な取組みと考える。

(意見) 加盟団体に所属する一部の市民が大会を行うために多額の税金が使われるのはおかしい。協議会への補助金を見直すべき。

市民大会の参加者の多くが何らかの団体に属しており、かなり限られた市民だけで行われている。そのような限定的市民大会への税金投入は見直すべき。

Q. 昨年度の学校給食費の収納率は？

A. 収納率は99.4%。約460件が未収。未収額は累計で約1030万円。

(要望) 滞納者の大半は、悪質なケースだそうで、より積極的に回収を進めるべき。豊中市の顧問弁護士や債権管理室と連携して対応して欲しい。

Q. 昨年度の保育料の収納率は？

公立と民間保育所のサービスの質に差がないということなら、一般財源の負担が少ない民間保育所から定員を埋めていくことは考えられないか？

A. 現年度分で96.9%。

保護者は、送迎の利便性、兄弟の入所状況、施設の特徴などを考慮し入所申込みをされる。民間保育所から定員を埋めていくことは、制度になじまない。

(意見) 公立と民間保育所にかかる税金の額の大差を解消するべき。

ご意見・ご質問  
お待ちしております！

Q. 放課後子どもクラブの手数料を定額から、前年度所得に応じた応能式に変更することはできないか？

A. 現時点では、応能式にすることは考えていない。

(要望) 応能式にして財源を確保し、市民ニーズに対応して欲しい。「時間延長」は早急を実現すべき。

Q. 小中一貫教育を進めるためには、通学区域の見直しが必要ではないか？

A. 中学校区単位で一貫した教育活動を進めるには課題があり、今後、通学区域のあり方について、審議・検討する。

(要望) 様々な課題はあると思いますが、通学区域のあり方について、早急に研究・検討して欲しい。

Q. 昨年度、亡失した図書の数と損失額は？

A. 亡失図書は約7100冊、損失額は約1150万円。

(要望) 亡失図書などによる損失を防ぐため、利用者のモラル向上の啓発に努めるとともに、現在、試行しているブックディテクションシステム(図書の無断持ち出し防止装置)の設置拡大を検討して欲しい。

# ～文教常任委員会での決算審議を終えて～

議員3年目で初めて所属した文教常任委員会。子どもに関する施策や教育施策全般について、調査・研究し、質疑をしたことで、見えてきたことがいくつもありました。

## 子育てに関する相談が急増!!



相談件数は2004年度122件(延べ292回)から、2008年度191件(延べ837件)と急増しています。相談内容は、「言葉が遅い」、「夜泣きをする」、「子どもが反抗的である」など、子どもの育ちに関することや、「子どもをたたいてしまう」、「育児に自信がもてない」、「子どもをきつく叱ってしまう」、「子どもがかわいく思えない」など保護者自身の不安や感情面での悩みなど。

## ひとり人を保育するためにかける税金に差がある!!



公立と民間保育所では、ほぼ同じ数の子どもを、預かっていますが、その事業費用は約41億円(市の支出約30億円)と約32億円(市の支出約11億円)と、かなりの差があります。豊中市内で子どもを一人保育するためにかかる費用に差があるのが現状です。

## 学校給食費の収納率は意外に(!?)高かった!!



豊中市の学校給食費の収納率は99.4%で、マスコミ報道されるほど滞納者はいません。しかし、滞納者のほとんどが悪質だそうで、現場の先生方が回収業務に精神的にも肉体的にも苦勞されているようです。

## 低所得世帯への貸付制度は問題あり!!



母子家庭の母親の職業訓練中の支援、低所得世帯の子どもの高校授業料などの支援に貸付制度があります。しかし、職業訓練や高校卒業の後、自立できず借金苦に陥る方がいます。低所得者への貸付が、本当の支援になっているのか疑問です。特に低所得で教育が受けたい子どもには、お金の貸付ではなく給付にし、経済的不安や精神的負担を与えず、教育が受けられるようにする必要があります。

## 教育費にもっと予算をつけるべき!!

財政が厳しいとは言え、豊中市は教育にける予算を削りすぎです。人件費を除いて当初予算を比較すると、歳出歳入総額が2007年度で約908億円、2008年度で約897億円と約11億円減少。教育費の予算は、2007年度で約67億6千万円、2008年度で約64億4千万円と、約3億2千万円の減少。さらに、耐震関係の予算を除くと、2007年度で約66億5千万円、2008年度で約57億円と、約8億5千万円の減少。予算全体で約11億円の減少に対して、教育費だけで約8億5千万円の減少は、あまりにも大きすぎると思います。ちなみに、今年度の予算については、耐震関係の予算を除くと、約52億円で、今年度の教育費に関する予算は昨年度に比べて、約5億円減少しています。(下図参照)

教育に関する事業には、必要性に疑問のある事業もありますが、続けてほしい、できれば拡張してほしい、市の負担額が増えるとしても現行制度を見直して、もっと現実的に活用できるものにしてほしい事業が数多くあります。

「豊中市にとって人こそ最大の宝」と言うのなら、その宝をより増やす、より磨くための教育にこそもっと税金を投入するべきと考えます!!

一般会計調べ	教育委員会		
	当初予算総額	当初予算歳出額	耐震関係を除外
2007年度	約908億円	約67.6億円	約66.5億円
2008年度	約897億円	約64.4億円	約57億円
2009年度	約885億円	約68.3億円	約52億円

(注)当初予算総額及び教育委員会の予算額は、人件費を除いた額。



## 発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young\_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.tcct.zaq.ne.jp/positive-square/

「つながり日記」毎日HPで更新中!!

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



## 前向きひろば 神原宏一郎 事務所

